

報道関係者各位

2011年6月
株式会社主婦の友社

災害時に役立つ1台7役の手回し充電ライトと最新地震対策本をセットにした

『携帯レスキュー そなえ君』

7月16日(土) 全国の書店・ネット書店で発売



株式会社主婦の友社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:荻野善之)は、『1台7役手回し充電ライト 携帯レスキュー そなえ君』(税込み 2,990円)を7月16日(土)に発売いたします。

本書は、先の震災で最も必要だと感じた「情報の確保」と、「電源の確保」ができ、災害時に役立つ7種類の機能がついた手回し式の充電ライトに、地震対策本をセットにした初めての商品です。全国の書店およびネット書店で購入できます。

なお、本書の売り上げの一部は、東日本大震災の被災者の皆様への義捐金として寄付いたします。

本書の概要

【タイトル】 1台7役手回し充電ライト 携帯レスキュー そなえ君

【著者】 主婦の友社編

【価格】 2,990円(税込み)

【サイズ】 (本誌) B5判 16ページ

(ライト) 幅 6.5cm × 奥行 14.5cm × 高さ 4.3cm 重量 181g

7つの機能 詳細は次ページ参照

手動ダイナモにより携帯充電機能(iPhone、各種スマートフォン、携帯電話) AMラジオ FMワイドバンドラジオ 3灯LEDライト 110dbサイレン 赤色LED点滅 USB充電

この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社主婦の友社 広報宣伝課 酒見・長友・大塚 TEL 03-5280-7577 FAX 03-5280-7578

報道関係者各位

2011年6月
株式会社主婦の友社**そなえ君の特徴**

カバンの中、オフィスの机、どこでも持ち運びやすく、女性でも扱いやすいように全長14.5cm、重さ181gと軽量でコンパクトなサイズ

停電などによる暗闇でも、老若男女が操作しやすいスイッチとダイヤル式のラジオ

ラジオを受信しやすいよう、ストラップ部分にアンテナを収納することで明瞭な電波を確保

[国際救難カラー]の別注オレンジ色を採用し、暗闇でも探しやすい

7つの機能と特徴**手動ダイナモによる携帯充電機能**

現在販売されているダイナモ式ライトの中には、iPhone やスマートフォンへの充電ができない機種もありますが、本品は iPhone や、Micro USB(Bコネクタ)を使用するスマートフォン各種、ドコモ FOMA、au CDMA 1X WIN、softbank 3G の各種携帯電話を手動で充電できます(写真)。



写真



写真

ダイヤル式 AMラジオ(周波数 540-1600kHz)**ダイヤル式ワイドFMラジオ(周波数 76-108MHz)** 東北3県は地上デジタル放送開始延期のためテレビ1-3CHも入ります。

暗闇でも確実にチューニングができる、老若男女が操作しやすいダイヤル式スイッチです(写真)。

3灯LEDライト(通常光)

寿命1万時間のLEDライトが3灯備わっています(写真)。

110デシベルのレスキューサイレンを搭載

助けを呼ぶときに一番必要なサイレンは救急車レベルの音量です。

(参考)

120デシベル ・飛行機のエンジンの近く

110デシベル ・自動車の警笛(前方2m)・リベット打ち

100デシベル ・電車が通るときのガードの下

前方の白色&上部の赤色のLEDが点滅するサイレンモード(写真)**USB 充電**

付属のUSBケーブルでパソコンから本体に充電することも可能です。



写真



写真

<充電について>

1分間120回(1秒に2回)で手回し充電を3分間行った目安として

蓄電がカラの状態から検証したデータ。内臓電池の蓄電状態により異なります。

・ラジオ 約5分 ・LEDライト 約20分 ・サイレン 約30秒 ・携帯電話 通話:約30秒 待ち受け:約10分

ただし、iPhoneの場合は1分間に180回(1秒に3回)の速さで回してください。

携帯電話機への「充電機能」はあくまでも災害時等の「緊急対応用」です。

この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社主婦の友社 広報宣伝課 酒見・長友・大塚 TEL 03-5280-7577 FAX 03-5280-7578

報道関係者各位

2011年6月
株式会社主婦の友社**本誌『最新地震対策ブック』内容****1:女医が教えるインテリジェンス地震対策**

銀座のクリニック「青木クリニック」院長で、関西学院大学災害復興制度研究所の客員研究員でもある青木正美先生による、震災前・震災後の心構えを掲載。青木先生は、震災2か月前の2011年1月に『平成東海地震への備え 2011』という文章を発表し、その中で「災害時の情報収集ツールとしてのインターネット接続とラジオの重要性」「地震時の原発の危険性」などを訴えていて、予言ともいえる内容は話題となりました。

2:その1秒が命の分かれ目...場所別「揺れた瞬間」に何をするか

地震で揺れ始めた時、その一瞬の判断が命の分かれ目になるのは、今回の震災でも明らかになったこと。「電車がホームに止まっている時」「家の2階にいるとき」「トイレの中で」「お風呂の中で」「ビルの1階で」.....場所別の1秒間で「最初に判断すべきこと」「なすべきこと」を徹底研究します。

3:家族と連絡!防災ダイヤル活用法

災害用伝言ダイヤル「171」。実際に使った人は被災地以外だとなかなかいないはず。家族とのやりとりする方法など171の使い方を事前に覚えておく講座ページ。また、災害対策に役立つ内容が充実しているWEBサイトやケータイサイトの紹介、震災時の連絡手段やがれきの下で有用な「犬笛アプリ」「懐中電灯アプリ」といったスマートフォンアプリをご紹介します。

4:災害時・緊急時 そなえ君の活用法

せっかく買ったものの、使い方を覚えておかないと実際の災害時に役に立たない。そなえ君を持っていても携帯の充電コードを忘れていたら意味がない。読み飛ばしてしまいがちな「トリセツ」(取扱説明書)ではわからない、ケースに応じた「そなえ君」の活用法をわかりやすいマニュアルに仕立てました。

この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社主婦の友社 広報宣伝課 酒見・長友・大塚 TEL 03-5280-7577 FAX 03-5280-7578